

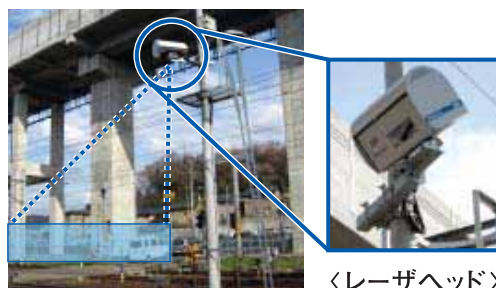
お客様に「安心」「信頼」して いただくために

vol.40 新しい踏切障害物検知装置の 導入について

これまでの踏切安全対策により、踏切事故件数は会社発足当時（1987年度）の4割に減少しました。さらなる対策として、性能向上した障害物検知装置「3次元レーザレーダ式障検（以下3D式障検）」を整備してまいります。

3D式障検について

3D式障検とは、踏切上部にあるレーザヘッドから踏切道上に連続的に放たれるレーザ光の反射により、踏切上の障害物を検知するものです。従来の発光器と受光器の間の光軸が遮られることにより障害物を検知する方式に比べ立体的に検知することが可能です。



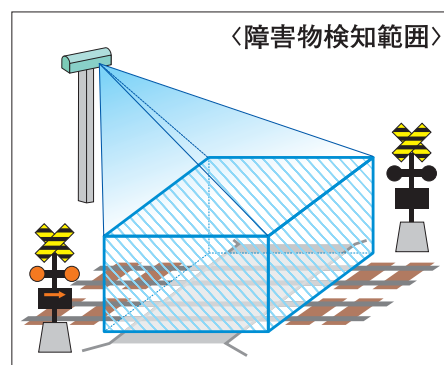
設置効果について

○踏切上の検知性能の向上

3D式障検は検知対象区域を連続的に監視できることから、従来の装置より検知性能が高まります。

○輸送障害の減少

踏切内での交通障害や天候などに伴う設備トラブルの可能性が減少します。



今後の整備計画

今後3年間で、約200箇所を整備する予定です。